(19)日本国特許庁(JP)　(12)特　許　公　報(B2)　(11)特許番号
特許第3609587号
(P3609587)
(45)発行日　平成17年1月12日(2005.1.12)　(24)登録日　平成16年10月22日(2004.10.22)

(51)Int.Cl.[7]　F I
B65D 55/02　B65D 55/02

請求項の数 3　(全 7 頁)

(21)出願番号　特願平9-188121
(22)出願日　平成9年7月14日(1997.7.14)
(65)公開番号　特開平11-35063
(43)公開日　平成11年2月9日(1999.2.9)
審査請求日　平成11年10月22日(1999.10.22)
審判番号　不服2001-17630(P2001-17630/J1)
審判請求日　平成13年10月3日(2001.10.3)

(73)特許権者　391013047
株式会社ハゴロモ
東京都千代田区神田須田町二丁目３番７号
(74)代理人　100063174
弁理士　佐々木　功
(74)代理人　100087099
弁理士　川村　恭子
(72)発明者　橘　倍男
東京都千代田区神田須田町２－６－５　株式会社ハゴロモ内

合議体
審判長　寺本　光生
審判官　溝渕　良一
審判官　渡邊　豊英

最終頁に続く

(54)【発明の名称】ゲームソフト等の収納ケース

(57)【特許請求の範囲】
【請求項１】
品物の出し入れ可能な開口部を有する収納容器本体と、該収納容器本体の開口部にスライドさせて取り外し可能に取り付けられる蓋体と、該蓋体の一端に板バネの挟持により出没状態が保持されるロック部材で蓋体の移動を制限するロック機構とを備え、前記蓋体をスライドさせ前記開口部を閉成する位置で前記ロック機構を作用させて蓋体の開成を阻止する構成にしたことを特徴とするゲームソフト等の収納ケース。
【請求項２】
収納容器本体は、空気口兼フック穴及び／又はロック機構の近傍にロック非常解除用穴を有することを特徴とする請求項１記載のゲームソフト等の収納ケース。
【請求項３】
ロック機構の板バネは、Ｕ字状に形成してロック部材を両側から挟持する構成にしたことを特徴とする請求項１記載のゲームソフト等の収納ケース。
【発明の詳細な説明】
【０００１】
【発明の属する技術分野】
本発明は、内部にゲームソフト、ゲーム用のコントローラ、配線コードその他の小物備品や文房具等の防犯用タグを取付け難い商品を防犯用タグと一緒に収納して、施錠することができるゲームソフト等の収納ケースに関するものである。
【０００２】

【従来の技術】
従来ＣＤ、ビデオテープ等の商品を不正に店頭から持ち出されないように、商品に磁気的或いは電気的に反応する防犯用タグを取り付けていた。しかし、ゲームソフト等の商品は直接的に防犯用タグを取り付けることが困難であり、接着テープまたは紐などを介して防犯用タグを取り付けても、防犯用タグを引き剥がされたり、切り取られて持ち出されることがあった。そこで、このような事態を解決するために、防犯用タグとゲームソフト等の防犯用タグが取り付け難い商品とを一緒にして施錠できる容器または陳列棚に入れ、販売または貸し出す際に施錠を解除して商品（ゲームソフト）のみを容器または陳列棚から取り出してお客に渡していた。
【０００３】
ところが、従来から使用されている容器または陳列棚用のロック機構は、シリンダー錠やタンブラー錠を使用することが多く、特定の鍵を使って施錠・解錠するものである。これらのロック機構は、その用途に応じて使用されるものであるが、ゲームソフト店やＣＤショップやビデオレンタルショップ等においては、店員の居る店頭から不正に商品の持ち出しを防止するために使用されている。
【０００４】
【発明が解決しようとする課題】
しかし、ゲームソフトやそれに関連する小物備品等においては、直接防犯用タグを取付けることが困難であるが、店舗の性格上から手にとって見ることができるように店頭に陳列することが好ましく、また仮に、容器またはガラス張りの陳列棚内に収納して施錠するとしても、客の要望によってその都度陳列棚内から商品を取り出さなくてはならず、その上に一種類の鍵で全ての錠前を開けることはできず、多数の鍵をもって対応する錠前を迅速に解錠するのは、取り扱いが煩雑であると共に、多くの店員を常駐させる必要があり経済的にも不利になると云う問題点がある。
【０００５】
本発明の目的は、これら従来の問題点を解決しようとするものであって、不正に防犯用タグを取り外したり除去したりすことのできないゲームソフト等の収納ケースを提供することにある。
【０００６】
【課題を解決するための手段】
上記目的を達成するために、本発明のゲームソフト等の収納ケースは、品物の出し入れ可能な開口部を有する収納容器本体と、該収納容器本体の開口部にスライドさせて取り外し可能に取り付けられる蓋体と、該蓋体の一端に板バネの挟持により出没状態が保持されるロック部材で蓋体の移動を制限するロック機構とを備え、前記蓋体をスライドさせ前記開口部を閉成する位置で前記ロック機構を作用させて蓋体の開成を阻止する構成である。
【０００７】
前記収納容器本体は、空気口兼フック穴及び／又はロック機構の近傍にロック非常解除用穴を有すること、及び前記ロック機構の板バネは、Ｕ字状に形成してロック部材を両側から挟持する構成にしたことである。
【０００８】
本発明に係るゲームソフト等の収納ケースでは、ゲームソフト等の商品をそのまま防犯用タグと共に収納容器本体内に格納することができ、蓋体がロック機構によって開成を阻止しているので、収納容器本体から商品を取り出して不正に持ち出すことができないのである。
【０００９】
【発明の実施の形態】
以下、本発明の実施例について、図面を参照しつつ説明する。図１は本発明のゲームソフト等の収納ケースの一実施例を示す斜視図、図２は同ゲームソフト等の収納ケースの要部斜視図、図３は同ゲームソフト等の収納ケースのロック部を示す縦断面図、図４は同ゲームソフト等の収納ケースのロック部を示す横断面図である。

【００１０】
図１に示すように、ゲームソフト等の収納ケース１０は、品物の出し入れ可能な開口部１１を有する収納容器本体１２と、この収納容器本体１２の開口部１１に対して取り外し可能に取り付けられる蓋体１３とから構成されている。
【００１１】
収納容器本体１２は、合成樹脂から構成されており、適度な剛性と、弾性とを有している。また、収納容器本体１２の底面には、収容する小物が抜け出ない程度の空気口兼フック穴１４が形成されており、例えば、収納容器本体１２の内側断面積と略等しいようなゲームソフトを収納・排出する際に商品の挿入・抜き出しを容易としている。なお、空気口兼フック穴１４は、底面以外の他の部位であってもよい。
【００１２】
収納容器本体１２は、透明或いは半透明の部材から構成されているので、収納したゲームソフト等のジャケットを外部から視認することができ、店頭に陳列しても、消費者にゲームソフトの内容を確認する邪魔になることがない。
【００１３】
収納容器本体１２の開口部で嵌合される蓋体１３に設けられたロック機構１９の近傍には、ロック非常解除用穴１５が形成されている。このロック非常解除用穴１５は、例えば、ロック機構が所定の解錠具で解除されても何らかの関係でロック部材が移動しない状態になったときに、ロック非常解除用穴１５から適宜の治具を差し込んでロック部材を下から押し上げることができるようにしたものである。
【００１４】
収納容器本体１２の開口部１１近傍は、比較的肉厚に形成されると共に、両側にあり溝１６が平行に形成されている。また、あり溝１６の奥端部には、ストッパー１７が形成されており、蓋体１３の取り付け移動を一方向からしか行えないように規制している（図１、２参照）。
【００１５】
蓋体１３は、収納容器本体１２の開口部１１近傍に形成された両側のあり溝１６に摺動可能にそれぞれ嵌合するありほぞ１８が両内側に形成されている。したがって、蓋体１３は両内側に形成されたありほぞ１８があり溝１６内を移動することで、収納容器本体１２の開口部１１に対してスライド可能に取り付けられるのである。
【００１６】
また、蓋体１３の一端側にはロック機構１９が取り付けられており、このロック機構は、板バネ２０と該板バネ２０により突出状態と没入状態とが保持されるロック部材２１とから構成されている。板バネ２０は、本実施例ではＵ字状に折り曲げて形成されており、その先端部がロック部材２１の両側を挟んで保持している。また、ロック部材２１は中央部から上方を細身の釦部２１ａとすることで中央部に係合段部２１ｂが形成され、細身の釦部２１ａはロック機構１９の上面から突出可能に配設されており、操作者はこの突出した釦部２１ａを指で押すことによりロック操作をする。
【００１７】
次に、以上のように構成されたゲームソフト等の収納ケース１０の使用について説明する。先ず、収納ケース１０内にゲームソフト等を収納する場合には、蓋体１３を取り外した状態で、開口部１１からゲームソフト等の商品と防犯用タグとを一緒にして収納容器本体１２内に入れた後、開口部１１の一端部側から蓋体１３のほぞ１８をあり溝１６に嵌合させ、蓋体１３をスライドさせて収納容器本体１２の開口部１１を閉める。この場合に、ロック機構１９におけるロック部材２１は、その釦部２１ａが上面に突出した状態にある。そして、施錠する場合には、突出している釦部２１ａを押し込むと、ロック部材２１が蓋体１３の下面から収納容器本体１２内に突出して蓋体１３のスライド移動が抑制され、開口部１１が開放されなくなるので収納容器本体１２からゲームソフト等を取り出すことができない。
【００１８】

ロック機構１９の施錠は、上記したようにロック機構の頂部から上に突出した釦部２１ａを指で押し込むことにより行うが、その釦部２１ａが押し込まれることにより、ロック部材２１の両側に配設された板バネ２０が、両側の係合段部２１ｂに係合し、ロック部材２１を収納容器本体１２内に突出させた状態を維持するのである。

【００１９】

このようにして、ロック部材２１が収納容器本体１２内に突出すると、蓋体１３のスライド移動が抑制されて施錠状態になる。そして、ロック部材２１は、両側の係合段部２１ｂに板バネ２０が弾性的に係合しているので、ロックが外れる虞もない。

【００２０】

また、ロック機構１９を解錠する場合には、所定の解錠具を使用する。この解錠具は、例えば、ロック機構１９をそのまま収納できる凹部を有し、その凹部の両側に強力な磁石を備えたものである。そして、収納容器本体１２の蓋体１３を下側にしてロック機構１９を解錠具の凹部に入れると、両側の強力な磁石によって板バネ２０を外側方向へ引き寄せ、板バネ２０の両先端がロック部材２１の係合段部２１ｂから外れ、ロック部材２１が自由になって自重により下降、即ち外部に突出し、ロックが解除される。なお、ロック部材２１が何らかの都合で下降しない場合は、ロック非常解除用穴１５から適宜の針状材またはスペースがある場合には指を入れ、ロック部材を外側に押し出すようにする。ロック部材２１が外側に突出すると、蓋体１３が自由にスライド移動することができ、開口部１１を開放してゲームソフト及び防犯用タグ等を取り出すことができる。

【００２１】

以上の実施例は、ゲームソフト等を収納する場合について説明したが、ゲーム用のコントローラ、配線コード、文房具等の小物の収納にも適している。

尚、本発明は以上の実施例に限ることなく、本発明の技術思想に基づいて種々の変形が可能である。

【００２２】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明のゲームソフト等の収納ケースでは、品物の出し入れ可能な開口部を有する収納容器本体と、該収納容器本体の開口部にスライドさせて取り外し可能に取り付けられる蓋体と、該蓋体の一端に板バネの挟持により出没状態が保持されるロック部材で蓋体の移動を制限するロック機構とを備え、前記蓋体をスライドさせ前記開口部を閉成する位置で前記ロック機構を作用させて蓋体の開成を阻止する構成にしたことにより、ゲームソフト等の防犯用タグを取付けることが困難なものをそのまま防犯用タグと一緒に収納し、店頭の陳列棚に展示することができ、しかも防犯タグが入っていることで、不正に商品を持ち出されることがない。また、利用客が不正に磁石を使用して板バネを引き寄せて解錠しようとしても、強力な磁石を狭い間隔で保持しながら作業するのは困難であり、現実に解錠は容易ではない。

【００２３】

また、前記収納容器本体は、空気口兼フック穴を有するので、収納するゲームソフト等が収納容器本体１２の開口幅一杯であっても円滑に挿入することができると共に、商品を陳列する際に空気口兼フック穴を利用して吊り下げることもできる。

【００２４】

更に、前記収納容器本体は、ロック機構の近傍にロック非常解除用穴を有するので、何らかの要因によりロック部材が動かなくなったときに、ロック機構を破壊することなく、このロック非常解除用穴から針状材または指を入れてロック部材を外側へ押し出すこともできる。

【図面の簡単な説明】

【図１】本発明のゲームソフト等の収納ケースの一実施例を示す斜視図である。

【図２】同ゲームソフト等の収納ケースの要部斜視図である。

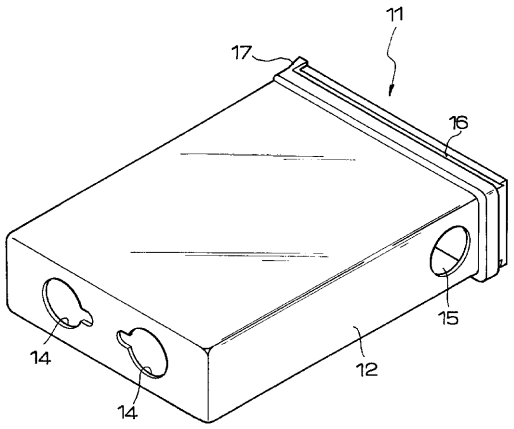
【図３】同ゲームソフト等の収納ケースのロック部を示す縦断面図である。

【図４】同ゲームソフト等の収納ケースのロック部を示す横断面図である。

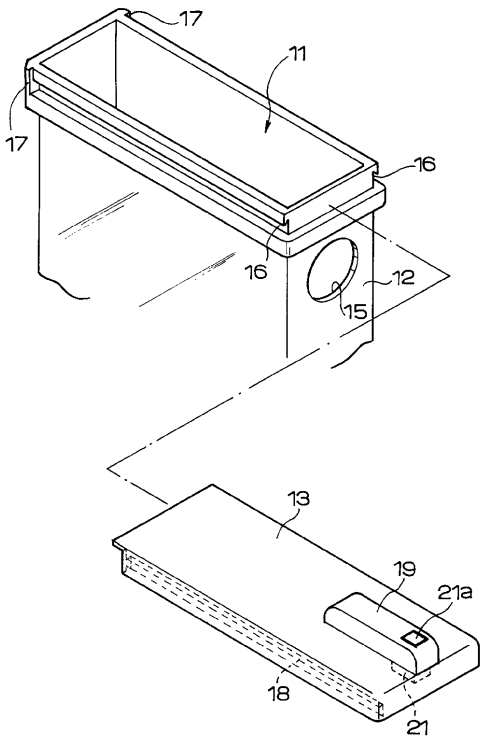
【符号の説明】

１０	ゲームソフト等の収納ケース
１１	開口部
１２	収納容器本体
１３	蓋体
１４	空気口兼フック穴
１５	ロック非常解除用穴
１６	あり溝
１７	ストッパー
１８	ありほぞ
１９	ロック機構
２０	板バネ
２１	ロック部材
２１ａ	釦部
２１ｂ	係合段部

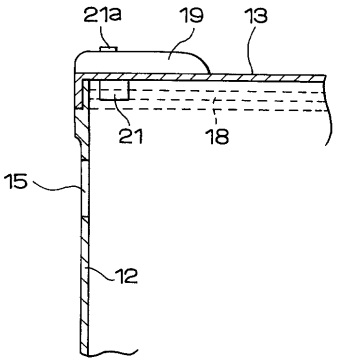
【図１】



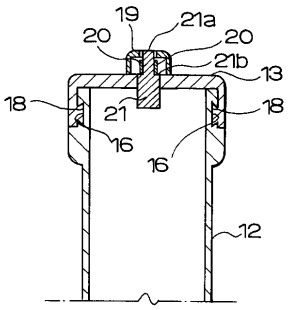
【図２】



【図３】



【図４】



フロントページの続き

(56)参考文献 実開平７－２９６９２（ＪＰ，Ｕ）
特表平９－５０６３９９（ＪＰ，Ａ）

(58)調査した分野(Int.Cl.[7]，ＤＢ名)
B65D 55/02